



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月30日

上場会社名 山九株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 9065 URL <https://www.sankyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 公大
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 都賀 守常 (TEL) 03-3536-3939
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	436,554	6.1	29,757	13.2	32,239	20.9	20,117	18.2
2022年3月期第3四半期	411,464	2.7	26,288	0.2	26,656	△0.4	17,019	△7.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 29,391百万円(55.7%) 2022年3月期第3四半期 18,877百万円(2.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	343.90	—
2022年3月期第3四半期	286.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	494,238	270,721	54.1
2022年3月期	462,467	248,725	53.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 267,354百万円 2022年3月期 245,954百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2023年3月期	—	70.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	579,000	4.5	37,500	8.8	40,500	14.3	26,000	14.9	444.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	61,757,978株	2022年3月期	61,757,978株
2023年3月期3Q	3,262,606株	2022年3月期	3,261,422株
2023年3月期3Q	58,496,004株	2022年3月期3Q	59,385,670株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 経営方針に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

「山九のユニーク」マーク



1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、原材料・エネルギー価格の高騰等、引き続き先行き不透明な状況が続きました。米国では、急激な金利上昇と物価上昇の中、底堅い企業業績を背景とした良好な雇用・所得環境により個人消費は総じて堅調に推移しました。中国では、ゼロコロナ政策による経済活動の抑制等から成長率が低下しましたが、足元では回復傾向も見られます。国内経済では、ワクチン接種の進展等による人出の回復を受けてサービス消費を中心に経済活動は回復に向かう一方、ロシア・ウクライナ情勢を受けた資源価格の上昇による物価高や、為替相場が大きく変動する等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の下、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,365億54百万円と前年同四半期比6.1%の増収、利益面においては、営業利益が297億57百万円と13.2%の増益、海外の倉庫火災に伴う保険金の受け取りや、円安による為替差益の計上により経常利益が322億39百万円と20.9%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益が201億17百万円と18.2%の増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 物流事業

港湾国際事業では、国内の海上コンテナ取扱いの増加やこれに伴うヤード内作業・保管作業が堅調に推移しました。また、昨年度完工した東南アジアでのプロジェクト案件の剥落や航空貨物の取扱いの減少はあるものの、国内外での海上貨物の輸出入取扱いが好調に推移しました。3PL一般事業では、中国・東南アジアでの自動車部品・消費財等の輸送・保管作業等が堅調に推移したものの、国内では消費財等の取扱量減少となりました。構内では、国内客先の単価改定が進む一方、作業量が減少となったことに加え、海外での装置の不具合に伴う先行コストおよび、設備修繕費用の増加がありました。なお、昨年度は、お客様に対する過請求の補償計上がありました。

以上の結果、物流事業全体の売上高は2,285億41百万円と前年同四半期比7.7%の増収、セグメント利益（営業利益）は83億73百万円と前年同四半期比2.5%の増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の売上高に占める割合は52.4%であります。

② 機工事業

設備工事では、昨年度完工した化学プラント建設工事や重量物輸送での風力関連の建設工事等の剥落があったものの、鉄鋼関連設備の改修・更新・撤去・建設に伴う工事量に加え、メンテナンスでも国内SDM（大型定期修理工事）の工事や検査工事が増加しました。

以上の結果、機工事業全体の売上高は1,896億45百万円と前年同四半期比4.6%の増収、セグメント利益（営業利益）は199億3百万円と前年同四半期比15.7%の増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の売上高に占める割合は43.4%であります。

③ その他

国内SDM（大型定期修理工事）等、機材・資材貸出の増加に伴う取扱量の増加や、道路・付帯設備の補修工事量が増加しました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は183億67百万円と前年同四半期比2.9%の増収、セグメント利益（営業利益）は13億24百万円と前年同四半期比105.6%の増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の売上高に占める割合は4.2%であります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,647億2百万円であり、前連結会計年度末に比べ261億59百万円、11.0%増加しました。主な要因は、作業量の増加による受取手形、売掛金及び契約資産の増加等によるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は2,295億35百万円であり、前連結会計年度末に比べ56億11百万円、2.5%増加しました。主な要因は、有形固定資産の増加とのれんの償却による減少との差等によるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,422億71百万円であり、前連結会計年度末に比べ14億74百万円、1.0%増加しました。主な要因は、季節資金等の支払を目的としたコマーシャル・ペーパーの発行および、未払法人税・消費税の増加と協力会社への支払早期化に伴う支払手形及び買掛金および、1年以内に償還期日が到来する社債の減少との差等によるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は812億45百万円であり、前連結会計年度末に比べ83億円、11.4%増加しました。主な要因は、長期借入金の増加等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,707億21百万円であり、前連結会計年度末に比べ219億96百万円、8.8%増加しました。主な要因は、利益剰余金および、為替換算調整勘定の増加等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末を0.9ポイント上回る54.1%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、現在のところ2022年10月31日に公表しました業績予想に変更はありません。

(4) 経営方針に関する説明

本日開催の取締役会において、当社グループは、「Vision2030」、「中期経営計画2026」を決議いたしました。詳細につきましては、本日開示の『「Vision2030」、「中期経営計画2026」策定に関するお知らせ』をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,743	42,490
受取手形、売掛金及び契約資産	182,029	202,801
有価証券	876	2,024
未成作業支出金	1,433	1,403
その他の棚卸資産	2,252	2,182
その他	9,387	14,006
貸倒引当金	△178	△205
流動資産合計	238,542	264,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	64,421	64,091
土地	58,864	58,342
その他（純額）	39,147	44,606
有形固定資産合計	162,433	167,040
無形固定資産		
のれん	755	347
その他	7,432	7,192
無形固定資産合計	8,187	7,540
投資その他の資産		
投資有価証券	25,019	25,402
その他	28,770	29,997
貸倒引当金	△487	△444
投資その他の資産合計	53,303	54,955
固定資産合計	223,924	229,535
資産合計	462,467	494,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,558	61,678
短期借入金	13,193	14,685
コマーシャル・ペーパー	—	15,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	4,371	5,686
契約負債	1,360	1,457
賞与引当金	7,551	8,132
その他	29,762	35,629
流動負債合計	140,797	142,271
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	7,493	13,256
退職給付に係る負債	30,538	31,154
その他	19,913	21,834
固定負債合計	72,945	81,245
負債合計	213,742	223,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	12,715	12,715
利益剰余金	203,301	216,015
自己株式	△9,117	△9,122
株主資本合計	235,519	248,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,856	8,792
繰延ヘッジ損益	27	△12
土地再評価差額金	△254	△163
為替換算調整勘定	△2,291	6,723
退職給付に係る調整累計額	4,097	3,786
その他の包括利益累計額合計	10,434	19,125
非支配株主持分	2,770	3,366
純資産合計	248,725	270,721
負債純資産合計	462,467	494,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	411,464	436,554
売上原価	368,319	388,205
売上総利益	43,145	48,349
販売費及び一般管理費	16,856	18,591
営業利益	26,288	29,757
営業外収益		
受取利息	131	335
受取配当金	535	882
為替差益	22	479
受取保険金	—	940
助成金収入	228	0
その他	778	929
営業外収益合計	1,695	3,568
営業外費用		
支払利息	358	417
支払補償費	559	—
その他	410	669
営業外費用合計	1,327	1,087
経常利益	26,656	32,239
特別利益		
受取補償金	341	—
固定資産売却益	152	—
特別利益合計	493	—
特別損失		
固定資産除却損	418	864
減損損失	548	188
特別損失合計	966	1,052
税金等調整前四半期純利益	26,183	31,186
法人税等	8,875	10,762
四半期純利益	17,308	20,424
非支配株主に帰属する四半期純利益	289	307
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,019	20,117

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	17,308	20,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△579	△63
繰延ヘッジ損益	△4	△40
為替換算調整勘定	2,424	9,357
退職給付に係る調整額	△271	△286
その他の包括利益合計	1,569	8,967
四半期包括利益	18,877	29,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,446	28,717
非支配株主に係る四半期包括利益	431	674

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	212,262	181,358	393,621	17,843	411,464	—	411,464
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,622	2,289	4,911	992	5,903	△5,903	—
計	214,885	183,647	398,533	18,835	417,368	△5,903	411,464
セグメント利益	8,168	17,202	25,370	644	26,014	273	26,288

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額273百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	228,541	189,645	418,187	18,367	436,554	—	436,554
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,596	3,277	5,874	939	6,814	△6,814	—
計	231,138	192,923	424,062	19,306	443,368	△6,814	436,554
セグメント利益	8,373	19,903	28,276	1,324	29,600	157	29,757

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額157百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。